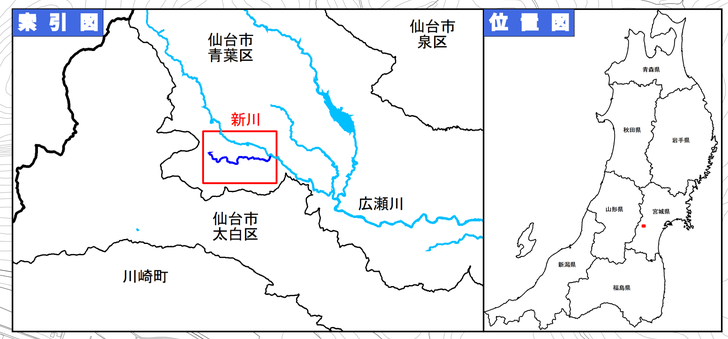
名取川水系新川　洪水浸水想定区域図（計画規模）



1. 説明文

（1）この図は、名取川水系新川の下記の区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域等は、指定時点の新川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/150（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150（0.67%））の降雨に伴う洪水により新川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

（1）作成主体　宮城県
（2）指定年月日　令和 7 年 5 月 30 日
（3）告示番号　宮城県告示第 366 号
（4）指定の根拠法令　水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条 第 2 項
（5）対象となる河川
名取川水系新川（実施区間）
左岸：初小屋沢の合流点から広瀬川への合流点まで
右岸：同上
（6）指定の前提となる降雨　名取川水系新川　新川流域の 1 時間雨量 94.7㎜
（7）関係市町村　仙台市

凡　例

実施区間
管理(解析)上流端　解析下流端

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 10.0 ～20.0m未満
- 5.0 ～10.0m未満
- 3.0 ～ 5.0m未満
- 0.5 ～ 3.0m未満
- 0.5m未満

S=5,000

100　0　100　200　300　400m

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R6 JHs　969を加工